栗山公園広場を再整備.

安全な利用環境を

# スク

## ル 1

ヤ

・制度の

の減である。イ要保護児童 平成29年度の児童虐待相談 時まで相談を受けている。 日から土曜日の9時から17 も家庭支援センターで月曜 ア子ども家庭部長 スクールロイヤーの導入を。 校現場で、法的助言をする は。分各機関の連携は。ウ学 億に新しい。<br />
虐待から命を が必要。野田市で女児が自 くため、関係各所での連携 各機関と協議・研修を重ね 対策地域協議会を設置し、 は、84件で前年度から28件 宅浴槽で死亡した事件は記 1児童虐待を無くしてい

ている。警察署とは平成30 (自民党・信頼) 社と認知症をみんなで支え サポーター養成講座とフォ り事業の現状は。ヴ認知症 案しました。 ■その他、歯磨き条例を提 るまちづくり連携協定を締 との協定・エーザイ株式会 見守りに関する民間事業者 ローアップ研修を実施。イ 条例の導入を検討しないかの 来的に検討していきたい。 する場を設けている。
ウ将 教育委員会・警察は、月に する協定を締結している。 年7月に児童虐待防止に関 に。沢周知と研修は。イイ見守 福祉保健部長 ア認知症 回、定期的に情報交換を 2認知症と向き合うため 学校教育部長 (イ学校・

## ヤングケアラー 実態把握とサポ 坂井えつ子 の





任を引き受けるヤングケア 大人が担うようなケアや責 (緑・つながる) や家族の世話を担う者が

18歳未満の子どもが、

活が送れない。学業不振、る。疲労累積で健康的な生 市長、教育長の見解は。
(エ必要に応じた支援を。)オ を受けるようになる。部活 遅刻増加などマイナス評価 力を挙げて更に取組を前進会議等で認識していく。 との連携に努める。実務者

7千人を超える児童・生徒 の中には、事情により家事 低下などが考えられる。(イ 動等を諦める。慢性的疲労 による無気力や自尊感情の

事例はあったか。ウ相談でれる影響は。付これまでにれる影響は。付これまでに 機関につなぐ。工関係機関談窓口で相談を受け、関係相談事例はある。ウ各種相がらずいると認識している。 子ども家庭部長 イツな 聴し、民生委員等につなぐ。 受ける。圧子どもの話を傾 る。

ウ学級担任やスクール カウンセラーなどが相談を

り組んでいきたい。 させる必要がある。市とし ても関係機関と協力して取

態を見極めていきたい。 徒はいた。児童・生徒の実 ングケアラーと思われる生



教育長 オ振り返るとヤ



部地震の時に、ブロック塀いて。昨年6月、大阪府北等の命を守る安全対策につ 旨は認識している。検討さ21日、国の閣議決定された 年度の補正予算が昨年12月て、東京都の通知で平成30 が大事である。小金井市と策、事故を未然に防ぐこと 助金を交付する市町村に対 撤去・新設を行う者に、補 った。民間のブロック塀のの倒壊により女児が亡くな 交付している。命を守る対 して補助を行わないか。 し、国や東京都が補助金を 総務部長 補助金につい 通学路等のブロック塀

せていただきたい。

(公明党) 由紀子

組んでまいりたい。 は増加すると考える。 用して、防災兼用農業井戸 の防災強化を図らないか。 掲示板設置等を行い、農地 期から子育て期まで、医師 や栄養士と共同で作成した

排卵日の予測

状況を参考に検討する。穴や東京都、他自治体の取組の今後研究したい。公国男女共同参画担当課長

ながら検討を進める。 の議題としての提言を受け 第8期男女平等推進審議会 や不妊治療に

全プロジェクト」を更に活 ③東京都の「都市農地保せていただきたい。 災害時、母親はストレスで 源が不要であり、滅菌済み 衛生環境の悪い中、水や熱 クは命をつなぐものである。 母乳が出なくなることもあ 液体ミルクの活用について ルクの備蓄を行わないか。 より衛生的である。液体ミ の液体ミルクは、粉ミルク る。赤ちゃんにとってミル 総務部長 研究、検討さ

### 削減 障がい者 は止めるべき へのサ ĺ

自立生活支援課長 (分報 や他市動向を研究していく。 障がいのある方々のニーズ は随時見直していきたい。 の合理性はあると考えてい利用者の利便性などで一定討させていただきたい。圧 用者の声を聞きながら、 ど 様値である。 の事業者、利 され、 酬単価がそれに伴って変更 わせて日常生活用具の内容 る。技術の進捗、進歩に合 割り返すとほとんど

少なくとも中央線沿線の近時間と認識しているか。ウ時間と認識しているか。ウ エスマートフォンを日常生 隣自治体と同程度にすべき。 時間にせよ。分昨年4月に 国庫負担基準を報酬単価で 合」の区分がなくなった。 給時間を国分寺市並みの60 移動支援施策を 身体介護を伴わない場 同行援護の月単位の支 (日本共産党) 5時間を変えていない。 時間が変わらないので、月

視覚障がい者の

一その他、「学童保育指導 であったものが月約3千円ら45分の半分になり、無料 をしてもらう時間が90分か いる。市は介護保険を優先がい者の生活が脅かされて 負担増が行われており、障 ている。サービスの削減と 困っているという声を聞い の自己負担も発生するなど、 問題である。例えば、掃除

打ち切られ、介護保険サー ビスに移行させられていて いた障がい福祉サービスが とき、これまで受けられて い者が65歳になった (日本共産党) 省の通知に従って対応して

ち切りを行うべきではない。 な障がい福祉サービスの打 させることによって一方的 ■その他、「災害対策につ が足りていないこと」を指 となる食料など様々なもの 定をする調査員・避難所・ 受けるために必要な被災認 活者の被害想定をより多く 害廃棄物の仮置き場・備蓄 仮設住宅の建設予定地・災 十分にすること」、「支援を

支援状況と今 2ア原発事

# 命を守る安全対策を 通学路のブロック塀等の

②災害時や外出時の国産 む産後ケア事業の検討は。 整備について。 行う「日本版ネウボラ」の 期までの切れ目ない支援を は。イショートステイを含 福祉保健部長 ア202 ❶妊娠期から出産・育児

ア進捗状況

的なものを見極める。

❸女性やLGBT施策の

いる自治体を参考に、効果

福祉保健部長導入して

0年度中の開設を目指し、0年度中の開設を目指し、 も有効なルナルナアプリや、 ど見学し、検討している。 電子母子手帳アプリ、妊娠 ができ、妊活 があるが産院のある病院な 2生理日、

を進めないか。
一シップ制度を導入しない

ったガールズ相談事業を始 女性を対象に、ラインを使 更なる推進を。ア思春期の

めないか。公同性パートナ

で障がい福祉サービスを継負担が発生するという理由 保険を優先している。自己 に相当する介護保険サー すべき問題ではない。 この問題は一自治体で解決 続する対応はしていない。 スが利用可能であれば介護 おり、障がい福祉サービス

## 子どもの権利条例を 児童虐待とDV 防止

V家庭の子どもの虐待リス の社会的認知がない。D DVと児童虐待の関 (市民カエル) 況は。住宅支援の打ち切り (7居住支援協議会の検討状 にどう対応するのか。

情報共有は。⑴虐待防止にク、転入元との婦人相談の 助等がある。聞き取り調査固定資産税の減免、就学援 をして実態把握する。 総務部長 ア下水道料金

故の深刻さ、土壌汚染、子がなく、国の責任や原発事小児甲状腺がん増加の記載 記載不十分で、学校再開な るよう各課と情報連携する。 な設置の検討に至っていな る記述も多く、茨木市のよ どの復興情報も事実と異な どもの被曝感受性の高さも い。スムーズに支援を行え ■その他、放射線副読本は、 都市整備部長 / 八具体的

## 代包括支援 渡辺ふき子 の開設を 40種のメールが届く、

(公明党)

なメール等の配信を行わな

か。



いる。〈I民間園参加の保育一つ。事例の共有はされてDVは虐待リスクの要因の は児童虐待に当たる。面前 子ども家庭部長 アDV 重要性と実効性の認識は。 施策にいかす取組をしなけ例は小金井市の大切な条例。 ればならないと考える。 園研修で条例の周知をする。 の大切な条例。

30時間から45時間に変更し間を平成29年4月に見直し、 の中で小金井市は、ほぼ平た。多摩地域の上限時間数 化への対応策確立」を質問 ともに、学童保育所大規模

発信の一助としないか。 を見直し、地域活性や魅力 内の団体等への支援基準等

3<br />
全国大会に出場する市

愛着の持てる新庁舎に。

前を刻むためのクラウドフ ンチに、希望する市民の名 の建設を。また、歩道やベ

活用具に加えよ。

福祉保健部長 河上限時

員の基準緩和に反対すると

ァンディングなどを実施し、

施に向け準備を進める。

確保を図らないか。

総務部長 具体的に本実

内事業者支援と受注機会の 査の上、本実施を行い、市

が憩い集えるような新庁舎井の魅力が発信でき、市民まち・桜・緑・水等の小金できる新庁舎は、時を生む

合評価方式の評価項目を精

格改修の両面から検討する。

め、引き続き検討する。

**5**中央線から全景が一望

環境部長 応急処置と本

市長

26市の状況を見極

2試行を継続している総

本格的な再整備を求める。 な利用のための応急処置と ている小石を除去し、安全

❶栗山公園広場に表出し

保育園に通う子どもたちの既に近隣市で実施している援の手法の検討にも繋がる、

介護施設への支

使用済みおむつの持ち帰り

の見直し支援への判断は。

(自民党・信頼)

(264号)